

平成22年2月12日

三井生命保険株式会社

平成21年度第3四半期報告の概況について

三井生命保険株式会社（代表取締役社長 山本 幸央）の平成21年度第3四半期報告の概況につきまして、以下のとおりお知らせいたします。なお、数値の詳細は、本日付ニュースリリース「平成21年度第3四半期報告」をご覧くださいませよう、お願い申し上げます。

【契約の状況（個人保険および個人年金保険）】

新契約年換算保険料は、総合保障型商品や医療保障重視型商品の新契約年換算保険料が増加したものの、昨年4月以降、銀行等における一時払変額年金保険等の販売を休止したこと等を主因として、前年同期比**21.7%減の218億円**となりました。

保有契約年換算保険料は、医療保障・生前給付保障等の第三分野が増加したものの、全体としては、前年度末比**3.6%減の5,786億円**となりました。

新契約高は、個人保険の販売件数が増加する一方で、保障額が小額な医療保障重視型商品の販売の増加や法人契約の減少、および一時払変額年金保険等の窓販を休止したこと等により、前年同期比**29.6%減の5,497億円**となりました。保有契約高は、前年度末比**7.1%減の33兆1,923億円**となっております。

【損益の状況】

保険料等収入は、一時払変額年金保険等の窓販休止、および個人保険の保有契約高の減少に伴い、それぞれ一時払保険料、平準払保険料が減少したことを主因として、前年同期比**15.5%減の4,790億円**となりました。

基礎利益は、金融環境の改善に伴い昨年度繰り入れた変額年金保険等の最低保証に係る責任準備金が228億円戻入となったこと等により、前年同期から**579億円増の366億円**となりました。また、**経常利益**は基礎利益が増加し、キャピタル損益が大幅に改善したことを主因として同**1,878億円増の173億円**となり、**四半期純利益**も同**1,115億円増の54億円**となりました。

【主要指標の状況】

有価証券全体の含み損益は、前年度末から**1,055億円改善の727億円**となりました。

ソルベンシー・マージン比率は、その他有価証券の含み損益が大幅に改善したことを主因として、前年度末から**96.8ポイント上昇して698.8%**となりました。また、**実質純資産額**についても、有価証券全体の含み損益が大幅に改善したことにより、前年度末比**34.1%増の4,032億円**となりました。

1. 契約の状況

(1) 年換算保険料〔個人保険+個人年金保険〕

(単位:億円、%)

区 分	平成20年度 第3四半期累計期間	平成21年度 第3四半期累計期間	前年同期比
			増減率
新契約年換算保険料	279	218	▲ 21.7
うち医療保障・生前給付保障等	95	106	+ 11.8

(単位:億円、%)

区 分	平成21年度 第3四半期会計期間末	前年度末比	平成20年度末
		増減率	
保有契約年換算保険料	5,786	▲ 3.6	6,001
うち医療保障・生前給付保障等	1,207	+ 1.3	1,191

- (注) 1. 年換算保険料とは、1回あたりの保険料について保険料の支払方法に応じた係数を乗じ、1年あたりの保険料に換算した金額です(一時払契約等は、保険料を保険期間で除した金額)。
 2. 医療保障・生前給付保障等については、医療保障給付(入院給付、手術給付等)、生前給付保障給付(特定疾病給付、介護給付等)、保険料払込免除給付(障害を事由とするものは除く。特定疾病罹患、介護等を事由とするものを含む)等に該当する部分の年換算保険料を計上しています。
 3. 新契約には、転換による純増加を含んでいます。

(2) 新契約高、解約・失効高(率)〔個人保険+個人年金保険〕

(単位:億円、%)

区 分	平成20年度 第3四半期累計期間	平成21年度 第3四半期累計期間	前年同期比
			増減率
新契約高	7,804	5,497	▲ 29.6
解約・失効高	18,448	17,042	▲ 7.6
解約・失効率	4.72	4.80	+ 0.08ポイント

- (注) 1. 新契約高は、新契約+転換純増の数値を表示しています。
 2. 解約・失効の数値は、失効後復活契約を失効と相殺せずに算出しています。

(3) 保有契約高

(単位:億円、%)

区 分	平成21年度 第3四半期会計期間末	前年度末比	平成20年度末
		増減率	
個人保険+個人年金保険	331,923	▲ 7.1	357,217
団体保険	144,690	▲ 0.7	145,697
団体年金保険	11,861	▲ 1.1	11,995

- (注) 1. 個人年金保険については、年金支払開始前契約の年金支払開始時における年金原資と年金支払開始後契約の責任準備金を合計したものです。
 2. 団体年金保険については、責任準備金の金額です。

2. 損益の状況

(単位:億円、%)

区 分	平成20年度 第3四半期累計期間	平成21年度 第3四半期累計期間	前年同期比
			増減率
基礎収益	8,199	7,005	▲ 14.6
うち保険料等収入	5,672	4,790	▲ 15.5
基礎費用	8,412	6,639	▲ 21.1
基礎利益(▲は損失)	▲ 212	366	—
キャピタル損益	▲ 1,422	▲ 108	▲ 92.4
臨時損益	▲ 69	▲ 84	+ 22.3
経常利益(▲は経常損失)	▲ 1,705	173	—
特別利益	919	6	▲ 99.3
特別損失	105	28	▲ 73.2
契約者配当準備金繰入額	120	111	▲ 7.7
四半期純利益(▲は四半期純損失)	▲ 1,060	54	—

3. 主要指標の状況

(単位:億円、%)

区 分	平成21年度 第3四半期会計期間末	前年度末比	平成20年度末
		増減率	
ソルベンシー・マージン比率	698.8	+ 96.8ポイント	602.0
実質純資産額	4,032	+ 34.1	3,006
有価証券の含み損益(一般勘定)	727	—	▲ 327
総資産	74,929	+ 1.5	73,829

以上